

小城市・多久市 両公立病院統合計画の経緯

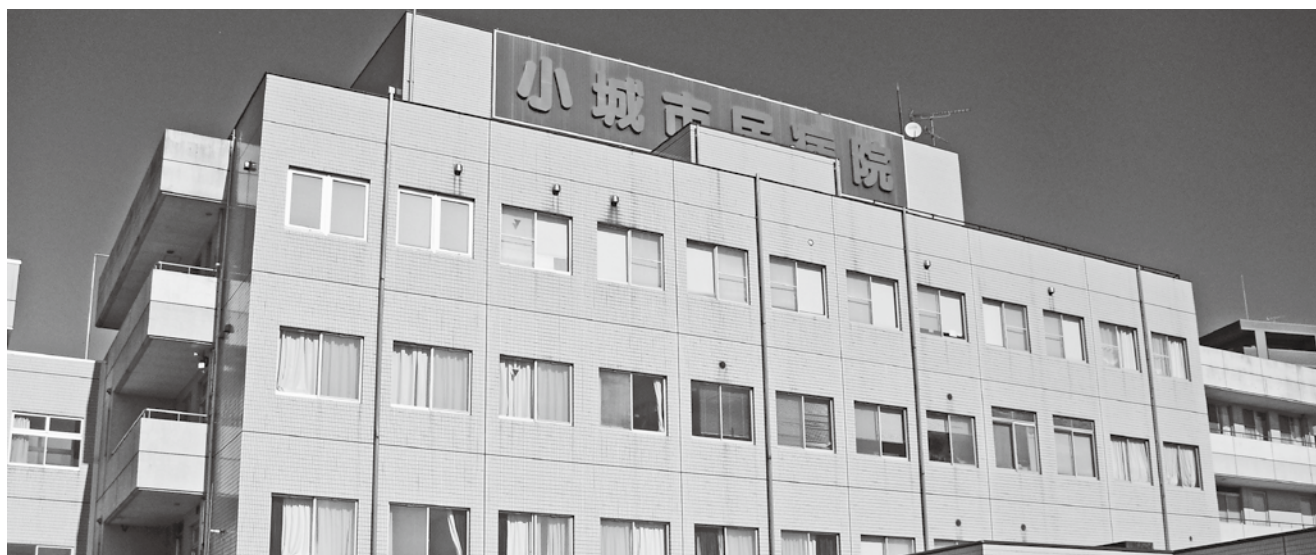
小城市民病院・多久市立病院の統合について、9月12日に市長より議会に報告があった。内容は以下のとおりである。多久・小城地区新公立病院建設候補地検討委員会からの報告を受け、小城市と多久市で協議を行った結果、小城市民病院と多久市立病院を統合し、新たな公立病院を設立することに合意した。基本合意内容は次のとおりで、両市によって覚書を取り交わした。

今後は、令和7年4月の開院を目指し、両市で準備を進めていく予定。

- 新病院の設立場所は多久市東多久町とする
- 新病院の建設に要する費用（用地買収費・造成費・医療機器等整備費などを含む）の内、小城市の負担割合は1割とする
- 新病院の運営に要する経費は2年前の両市民の患者数割合によって定める（開設後2年間は折半とする）
- 安定した運営に必要な資金残高を下回った場合は多久市において補填し、30年間は公立病院として存続させることとする

議員からは①両病院が現在保有する資産の扱いをどうするのか、②建設地に対する不安の声が市民からも出ている、③小城市民が納得できる説明が得られるのか、④東多久に建設した場合、小城市民はほとんど行かないのではないか。など多くの意見が挙げられた。

いずれにせよ、議会として最初の判断を問われるタイミングとしては、一部事務組合の立ち上げが議会に諮られる時になると考えられ、令和2年頃になる。



▲小城市民病院



▲多久市立病院